

年表

時代	元号	年	内 容
奈良		7世紀末～ 10世紀初め	みよしの猿投窯で貴族向けの灰釉陶器、緑釉陶器などの窯業が盛んとなる
平安	正暦4	993	医王寺開山
	長和年間	1012～1017	天台宗円明院阿弥陀寺創建
鎌倉	寛仁3	1019	三好八幡社創建
		12世紀初め～ 14世紀初め	中世のみよしの猿投窯で日用雑器の山茶碗の窯業が盛んとなる
室町	元弘 3	1333	鎌倉幕府滅亡
	正平 9	1354	打越で八幡大菩薩、伊勢大明神、春日大明神を祀る（現打越神明社）
	貞治年間	1362～1368	塚本信盛が南叅生村に氏神として正八幡宮を建立（現叅生神社）
	応永 8	1401	明知猿投八王子の社殿建立（現明知八柱社）
	応永20	1413	祐福寺玄通大和尚の隠居庵として光明寺発足
	永享 3	1431	西一色神明社創建
	寛正 5	1464	蓮如上人の弟子の子が念仏道場を開き、大覚寺となる
	享祿 4	1531	大乘寺、浄土宗西山深草派石塔山満福寺として再興
	天文 2	1533	与願寺開創
	弘治2～永祿2	1556～1559	織田軍勢と今川・松平軍勢が福谷城近辺で戦う
江戸	永祿 3	1560	伊豆原重房、桶狭間戦死者を弔う十一面観音を奉請し、南溟山無量寺となる
	元龜 2	1571	福谷城の戦いの死者を弔う念仏庵が寺となる（現福谷寺）
	天正元	1573	室町幕府滅亡
	文祿 4	1595	新屋天王神社「牛頭天王」として勧請
	慶長 4	1599	打越宝林寺創建
	慶長11	1606	新屋八龍神社雨乞いの神として勧請
	寛永元	1624	全海寺創建
	寛永12	1635	明知神明社創建
	寛永年間	1624～1644	酒井伍兵衛ら福田原新田の開拓始める
	寛文11	1671	禮善寺再興
	元祿 4	1691	祐福寺の僧の隠居寺として西一色薬師堂開創
	元祿 8	1695	黒笹八幡神社社殿を建立
	元祿11	1698	南溟山無量寺、現在の地に移り高根山無量寺と改称
	宝永 2	1705	旧観音寺、堤村端応寺末寺観正寺として再興
	正徳 2	1712	諸国巡礼の行者明知にて死亡。村人が供養し地藏堂を建てる
	安永 6	1777	海福寺、堤村西山から福田に移転
	明治	寛政 5	1793
天保12		1841	小嶋平兵衛、加茂碧海7力村の割元庄屋となる
安政 2		1855	天王神社の山車制作
文久元		1861	三好稻荷閣、満福寺境内に遷座
明治4		1871	打越の八幡大菩薩・伊勢大明神・春日大明神を、神明社と改称
明治 6		1873	三好学校、医王寺南側に創立

年表

時代	元号	年	内 容
明治	明治15	1882	宝林寺梅橋隠居所、無量寺説教所と称す（現薬王寺）
	明治31	1898	筋生神社の祭礼等に奉納した芝居の演目と配役の額奉納
	明治39	1906	三好村、筋生村、明越村が合併し三好村となる
	明治42	1909	南筋生の正八幡宮、八幡社と愛宕神社等筋生村の神社を合祀して筋生神社と改称
	〃	〃	宮大工小野田又蔵頌徳碑、平針街道に建立
	明治43	1910	皇太子嘉仁親王（のちの大正天皇）、大慈山にて陸軍演習統覧
大正	大正 7	1918	遠州豊岡より護国山法光庵を移転し、法光寺とする
昭和	昭和 5	1930	県有林払下げを受けて明知下区内の墓地を集約し西山墓地を造成
	昭和 9	1934	弥栄で不良土開発始まる
	昭和12	1937	熊崎惣二郎、三好八和田山開発、区画整理し、別荘、遊園地造成
	昭和13	1938	打越で大正末期に豚コレラが流行し、豚の供養に馬頭観音を建てる
	昭和17	1942	東明で開拓始まる
		このころ	無量寺説教所、曹洞宗薬王寺となる
	昭和21	1946	宝栄で開拓土地の払い下げ始まる
	昭和23	1948	4月 東山地域の三開拓地域、東山行政区として発足
	昭和26	1951	高嶺で開拓始まる
	昭和29	1954	日中戦争～第二次世界大戦の戦没者慰霊碑－殉国戦士之碑建立（三好八幡社）
	昭和32	1957	三好池工事始まる。工事竣工一昭和34年（1959）
	昭和33	1958	三好町制施行
	昭和36	1961	愛知用水通水
	昭和37	1962	4月 高嶺行政区発足
	昭和38	1963	5月 好住行政区発足
	昭和40	1965	1月 三好農場跡に名古屋刑務所移転
	〃	〃	7月 中島行政区発足
	〃	〃	10月 ひばりヶ丘行政区発足
	昭和45	1970	4月 あみだ堂行政区発足
	昭和46	1971	4月 山伏行政区発足
	昭和48	1973	4月 平池行政区、上ヶ池行政区発足
	昭和54	1979	名鉄豊田線開通 黒笹駅、三好ヶ丘駅開業
	昭和56	1981	三好町北部ニュータウン開発工事始まる
平成	平成 3	1991	1月 三好丘行政区発足
	平成 4	1992	4月 三好丘旭行政区、三好丘緑行政区発足
	平成 5	1993	4月 三好丘桜行政区発足
	平成15	2003	4月 三好丘あおば行政区発足
	平成22	2010	1月 みよし市施行
令和	令和 5	2023	3月 三好池耐震工事事業完了

索引

あ	あさぶ 助生	36	かくがのあと 鶴駕之迹	13
	あさぶ じんじゃ 助生神社	36	かさまつじんじゃ 笠松神社	8
	あたごじんじゃ 愛宕神社	39	かんのんじ 観音寺	45
	アートの小径	50	かんしょうじ 観正寺	26
	アートヒル三好ヶ丘彫刻フェスタ	48	がんぞうじ 岩蔵寺	38
	あみだし 阿弥陀寺	15	きさいじ 帰西寺	41
	あらいむら 荒井村	18	くまざきやま かいほう 熊崎山の開発	17
	あらや 新屋	6	くろざき 黒笹	44
	あら やつじ つじじぞう 新屋辻の辻地蔵	9	くろざきえき 黒笹駅	47
	あらや だし 新屋の山車	7	くろざきこうえん 黒笹公園	47
	いおうじ 医王寺	10	くろざきはちまんじんじゃ 黒笹八幡神社	44
	いたばし 板橋	20	くろざきむらもんじょ 黒笹村文書	45
	いちぼ こん 市場古墳	43	こうくらあと 郷蔵跡	19
	いちぼ どの 市場通り	11	こうさつば あと 高札場跡	19
	いっけんどうろ 一間道路	43	こうみょうじ 光明寺	26
	いっしきむらもんじょ 一色村文書	20	こしまへい ぐえ 小嶋平兵衛	16
	いやさかじんじゃ 弥栄神社	52	こんびらぐう 金毘羅宮	22
	いやさか ちく 弥栄地区	52	さ	
	うきがい 福谷	40	さかいがわ 境川	8
	うきがい じ 福谷寺	40	さかい ふんすけ 坂井文助	21
	うきがいじょうし 福谷城址	42	さなげじんじゃ 猿投神社	27
	うきがいやはしらしゃ 福谷八柱社	42	さなげよう 猿投寮	56
	うちこし 打越	32	さんびやくめかんのん 三百目観音	33
	うちこししんめいしゃ 打越神明社	32	さんびやくめじぞう 三百目地蔵	33
	うちこしむら えす 打越村絵図	35	じゅんこく せんしのひ 殉國戦士之碑	15
	えとじだい みち 江戸時代の道	22	じょうきゅうじ 浄久寺	29
	おくに大明神	13	じょうやどう 常夜灯	22, 33, 39, 41
	おの だまたぞう 小野田又蔵	31, 32, 36	す え き 須恵器	57
	おんたけじんじゃ 御嶽神社 (新屋)	9	ぜんかい じ 全海寺	9
	おんたけじんじゃ 御嶽神社 (打越)	35	ぜんきゅうつか 善久塚	11
か	かいふく じ 海福寺	23	た	
	かいゆうとう き 灰釉陶器	57	だいかく じ 大覚寺	34
			だいにちによらい 大日如来	33
			たかね く 高嶺区	54
			ちようたいいん あと ち 長泰院の跡地	23

	つげどうまんやしきあと 柘植道満屋敷跡	19		まつばいけ 松葉池	30
	つじじぞう 辻地蔵	47		まんぶくじ 満福寺	12
	つしまじんじゃ 津島神社	29		みなみあざぶじょうやとう 南筋生の常夜灯	39
	てんのうじんじゃ 天王神社	6		みやだいくおのだまたぞうきねんひ 宮大工小野田又蔵記念碑	31
	とうぶかいたくち 東部開拓地	52		みょうちかみ 明知上	24
	とうめいちく 東明地区	53		みょうちしも 明知下	28
	とうめいじんじゃ 東明神社	53		みょうちしんめいぐう 明知神明宮	28
な	なごやけいむしよ 名古屋刑務所	51		みょうちやはしらしや 明知八柱社	25
	にしいしき 西一色	18		みよしいけ 三好池	6
	にしいしきしんめいしや 西一色神明社	18		みよしいなりかく 三好稻荷園	12
	にしやまほち 西山墓地	30		みよしがおかえき 三好ヶ丘駅	48
	にっしんせんえききねんひ 日清戦役記念碑	27		みよしがおか 三好ヶ丘ニュータウン	48
	にちろせんえききねんひ 日露戦役記念碑	27		みよしがおかはいすいじょう 三好ヶ丘配水場	47
は	はくさんごんげん 白山権現	10		みよしかみ 三好上	10
	はくさんじんじゃ 白山神社	27		みよししも 三好下	14
	はちまんじんじゃ 八幡神社	39		みよしはちまんしや 三好八幡社	14
	はちりゅうじんじゃ 八龍神社	7		みよしはらぎょうじやとう 三好原行者堂	16
	ばとうかんのん 馬頭観音	35		むらしばい 村芝居	37
	ひがしやまぎょうせいく 東山行政区	52		むりょうじ 無量寺	37
	ふくた 福田	21		めいてつとよたせん 名鉄豊田線	47
	ふくたしんめいしや 福田神明社	22	や	やくおうじ 薬王寺	39
	ふくためいしや 福田の眼医者	21		やくしどう 薬師堂	19, 42
	ふくたはらしんでん 福田原新田	21		やまぢやわん 山茶碗	60
	ふどうみょうおう 不動明王	38		やまかみ 山ノ神	25
	ほうえいじんじゃ 宝栄神社	53		よかんじ 与願寺	16
	ほうえいちく 宝栄地区	53	5	らいぜんじ 禮善寺	37
	ほうこうじ 法光寺	26		りよくゆうどうき 緑釉陶器	59
	ほうしんじ 法春寺	44		ろくぶじぞう 六部地蔵	31
	ほうねんじ 法念寺	17			
	ほうりんじ 宝林寺	34			
	ほんごうじょうやとう 本郷の常夜灯	38			
ま	まかじん 摩伽神さん	50			
	またすけじぞう 又助地蔵	41			

お わ り に

平成28年12月に発足したみよし市郷土史研究会は、身近な地域の歴史を学ぼうという主題で研究を進めてきた。年度ごとの歩みは次のとおりである。

- 平成29年度 みよし市指定史跡（福谷城跡、古窯跡K-27の見学）
（2017）
- 平成30年度 各行政区にある文化財、史跡の見学調査（福田、打越、
（2018） 明知上、明知下）
- 令和元年度 文化財、史跡の見学調査（筋生、福谷、黒笹、三好丘）
（2019）
- 令和2年度 文化財、史跡の見学調査（三好上、三好下、西一色、
（2020） 新屋）
・市協働推進課「がんばる地域応援補助金」制度に応募
- 令和3年度 同上 決定（3カ年間計画の初年度）
（2021） 東部開拓地（東山区、高嶺区）の古老座談会開催
『目で見るとみよしの歴史』編集委員会成立
・各行政区の見学箇所の選択、写真撮影、プリント
・各行政区の頁についての写真の割付、説明文の執筆
- 令和4年度 同上（2年度）
（2022） ・各行政区の頁についての検討、印刷原稿の校正
・本としての体裁一総記（表紙、年表、索引等）検討
- 令和5年度 同上（3年度）
（2023） ・印刷製本
・発行、配本

人の住む所に歴史あり、どの地区にも先人の暮らしを物語る目に見える文化財や史跡があることを念頭に郷土みよしの歴史をまとめてきた。小さな本であるが、会員が力を合わせてより良い歴史の本を提供できるよう尽力した。郷土のみよしの歴史をひもとく際の参考になれば幸いである。

この本を創る契機を与えて頂いたみよし市協働推進課、みよし市立歴史民俗資料館始めご協力頂いた方々に篤くお礼を申し上げます。

この本をお読み頂いた方々には、ご感想などを会員にお話頂ければ幸いです。

令和5年10月

みよし市郷土史研究会一同



会員名簿

久野 安 鈔	○久野 宗 秀	久野 文 仁	塚 本 明 子
○河 西 悠 紀 子	○塚 本 隆 敏	◎塚 本 弥 寿 人	松 浦 喜 七
○坂 下 記 代 美	小 野 田 良 子	○岡 本 紀 子	成 合 美 保 子
○深 谷 喜 代 澄	深 谷 鏝 一	伊 藤 哲 也	○小 野 田 加 代 子
○小 野 田 英 久	深 谷 勝 善	川 端 智 恵	○加 藤 真 司
○増 岡 吉 尚	竹 内 和 子	水 野 秀 之	○山 口 正 敏
森 田 幸 一 郎	○近 藤 憲 司	浅 沼 潤	○岡 田 の り こ
○鈴 木 邦 正	○長 尾 た か 子		

協力 (猿投窯) 嘉 見 俊 宏

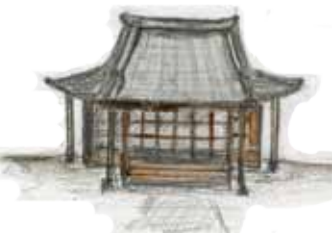
(◎監修者 ○編集委員)

目で見るとみよしの歴史

発行 令和5年10月発行(2023)

編集 みよし市郷土史研究会
代表 深谷 喜代澄
(0561-32-0724)

印刷 (株)サンコー
代表取締役 長岩 永衛
(0561-34-2103)



本書の無断複製 (コピー、スキャン、デジタル化等) は、著作権法で認められた場合を除き、禁じます。